



【お知らせ】

令和6年1月8日
統合幕僚監部

陸上自衛隊UH-60JAヘリコプターの災害派遣任務飛行の実施について

陸上自衛隊保有のUH-60JAヘリコプターについては、昨年4月の事故発生以降、災害派遣等の任務飛行については、必要が生じた場合には行う旨説明してきましたが、これまで実際に実施したことはなく、場周飛行経路等を使用した限定的な訓練飛行のみ実施しているところです。

本年1月1日に発災した「令和6年能登半島地震」に対処する中で、今般の地震による道路網等の寸断や、被災地域が沿岸部に集中している特性を踏まえると、航空輸送等の任務において、狭い地域にも着陸ができる中型のヘリコプターの運用が必要な状況となっています。

については、連続航続時間、積載重量に長けたUH-60JAは、特に、輸送艦を活用した海上からの物資輸送において適切と判断し、本日、明野駐屯地から小松基地まで移動しました。

現地の天候次第となりますが、明日1月9日以降、小松基地より輸送艦「おおすみ」に展開の上、災害派遣任務において運用することを予定しています。

【問い合わせ先】

統合幕僚監部参事官 田中（内線 30940）

統合幕僚監部首席参事官 井草（内線 30900）